

プレスリリース

全日本コーヒー検定委員会(本部:新橋、委員長:鈴木修平)が、平成26年に実施いたしました第22回及び第23回コーヒーインストラクター2級検定、第10回コーヒーインストラクター1級検定並びに第9回コーヒー鑑定士マスターコース検定の結果をご報告申し上げます。

第22回 及び 第23回 コーヒーインストラクター 2級 検定

第22回を春に、第23回を秋に開催いたしました。

一般の方々からのお申し込みが増加しており、平成26年に2級をお申込みいただいた総数は、1700名を超え過去最高となりました。

東京会場や神戸会場では開催回数を増やすなどの対策はしておりますが、とても応募者全員を受け入れるには至っておらず受験希望者にはご迷惑をおかけしています。

受験者の累計では、1万人を突破。2級認定者数も9千人に迫ってまいりました。

応募者の最年長記録が更新され、より多くの方々に注目していただいていることを実感しています。第22回と第23回の合計の受験者数、1,164名で2級認定者(合格者)は970名でした。

第10回 コーヒーインストラクター 1級 検定

第10回を夏に開催いたしました。こちらも応募総数は過去最高となりました。

また、合格者の最年少記録が更新され、講師陣もより研鑽をつまねばと良い刺激になっています。応募総数は、379名。受験者数 265名。合格者数 70名(再試験合格者含む)。

第9回 コーヒー鑑定士マスターコース 検定

秋に第9回を開催いたしました。1級、2級同様、応募者が過去最多となりました。

マスターコースは、1級や2級とは異なり一般の方からの応募はほとんどなく、業界のスペシャリスト達の登竜門となっていることから、応募者の年齢も現役世代に限られ、女性の比率も少なくなっています。

今回の合格者は、生豆鑑定 7名、品質管理 3名、商品設計 8名で、新たに2名のコーヒー鑑定士(3教科合格者)が誕生しました。

これで鑑定士合格者の累計が15名となり、少しずつではありますが業界の人材育成に寄与しているものと自負しております。

2014年12月29日発表

コーヒー検定事業の目的

コーヒーの知識と技術の向上を図り、消費者が評価するコーヒーの生産及び消費の促進・振興を目指します。

コーヒー鑑定士の概要

認定基準

コーヒーの原料調達、製造加工、品質管理などの専門職に求められる高度な専門知識と技術を有する方をコーヒー鑑定士として認定します。

1. 商品設計: 様々な市場や要望に対して、品質・コスト・製造条件などを考慮して適切な商品設計の仮説を想定できること
2. 生豆鑑定: 生豆のグローバルな知識と、外観からカップテストに至る鑑定技術を有し、品質格付や原料価格の妥当性、安定性などを見極められること
3. 品質管理: 品質に起因する問題が生じた際に、環境や設備に応じて相応の改善策や解決策を示せること

受講・受験対象

コーヒーインストラクター1級合格者で、資格認定されている方。

合格基準

JCQA 鑑定士は、3教科(商品設計、生豆鑑定、品質管理)の単位制とし、80点以上取得した教科について、その教科のマスターとして認定します。

3教科全てのマスター認定を受けた方を、JCQA コーヒー鑑定士として認定します。

JCQA コーヒーインストラクター1級について

コーヒーインストラクター1級の概要

認定基準

より高度で専門的な知識と鑑定技術。コーヒー製造業者に求められる、プロとしての必要な知識と鑑定技術を習得した方を認定いたします。

受講・受験対象

コーヒーインストラクター2級合格者で、資格認定されている方。

合格基準

JCQA コーヒーインストラクター1級は、学科・実技とも各80点以上取得した方を合格とし認定いたします。

コーヒーインストラクター2級の概要

認定基準

基本的なコーヒーの知識と鑑定技術。コーヒーを飲むだけでなく詳しく勉強したい方を対象にした資格で、コーヒーの対面販売に従事する方に求められる基本的な知識・鑑定技術を習得した方を認定いたします。

受講・受験対象

特に制限は設けておりませんが、日本語での講習会並びに試験に通訳の介在なくご参加いただける方。

合格基準

JCQA コーヒーインストラクター2級は、70点以上取得した方を合格とし認定いたします。

全日本コーヒー検定委員会 *J.C.Q.A. : Japan Coffee Qualification Authority*

我が国のコーヒー製造販売業者で組織する“全日本コーヒー商工組合連合会”が、コーヒーに関する研究・教育・資格認定を目的として2000年に発足した団体です。

全日本コーヒー商工組合連合会 代表理事会長 : 萩原孝治郎

全日本コーヒー検定委員会 委員長 : 鈴木修平 副委員長 : 山下雅彦

全日本コーヒー検定委員会事務局 TEL:078-252-8512 FAX:078-252-8550

ホームページ : <http://kentei.jcqa.org/>

本件に関するお問い合わせ

お手数ですが、当リリースのヘッドレター記載された検定委員会広報担当までお問い合わせください。

以上